

序　　議　　録

招集年月日		令和4年7月1日（金）						
開会時刻		午前9時30分			閉会時刻		午前10時25分	
開催場所		401・402 多目的会議室						
出席の状況（○出席者、代は代理出席）								
1	市長	○	2	副市長	○	3	教育長	○
4	総務部長	○	5	未来政策部長	○	6	財務部長	○
7	市民生活部長	○	8	健康福祉部長	○	9	産業部長	○
10	建設部長	○	11	建設部理事	○	12	教育部長	○
13	こども部長	○	14	議会事務局長	○	15	会計管理者	○
代理出席者								
職務のため出席した者		伊達総合支所長、梁川総合支所長、保原総合支所長、霊山総合支所長、月舘総合支所長、危機管理担当参事、健康対策担当参事、農業委員会事務局長、行政委員会事務局長、人事課長、秘書広報課長、デジタル変革課長、総合政策課長、財政課長、総務課長						
案件説明のため出席した者								
付議事案協議事項		1.開会 2.副市長あいさつ 3.議題 (1)令和4年伊達市議会定例会第6回臨時会議（7月臨時会議）について【総務部】 4.報告 (1)令和4年度部経営に関する協議（8月）について【未来政策部】 (2)県立伊達高等学校との包括連携に関する協定の締結について【未来政策部】 5.その他 (1)特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定（7月上旬期） (2)その他 6.閉会						

会議の経過・結果

1. 開会

2. 副市長あいさつ

本日副市長の辞令を受けた。二期目となるので、これまでの4年間を振り返ってみたい。

- ・イオンモールの開設については、様々な問題があったが、部局連携により庁内連絡会議をつくり、方向性や進捗状況をこまめに確認しながら進めていった。今後開発手続きを踏まえ、工事着手に至るところまで進むことができた。

- ・ガラスバッチのデータ流失問題については、問題発覚後すぐに第三者調査委員会を設置し、調査を行った。最終的には令和3年3月職員の懲戒処分もあったが、ひとつの節目を迎えた。

- ・令和元年10月の台風19号襲来や令和3年、令和4年の震度6弱の地震など、大きな災害が続いた。災害に備え、日頃からの訓練を積み重ね、市民一人一人が自分事として万全に備えられるように周知徹底していきたい。

- ・新型コロナウイルス感染症については、現在も感染状況は続いていて、6月29日現在伊達市内では累計1,363名が感染した。昨日から60歳以上の方向けの4回目ワクチン接種も始まった。一刻も早い終息を望みたい。

- ・やながわ工業団地のバイオマス発電所設置については、現在事業所から説明を受けているところで、今後市としては協定という形で市民の不安解消を図ってきたい。あわせて、市民団体との継続的な話し合いも進めていきたい。

4年間を振り返って感じることは、市民に直接関わる身近な行政だということ。日頃から市民感覚を常に意識して、業務にあたっていかなければならない。また、新型コロナウイルス感染症の影響により人々の生活スタイルが変わり、お祭りや各種行事が希薄となり、地域活動が制限されている。今後はこの状況からどうやって脱却し、賑わいを創出するかが問われていると感じる。

次に、私が仕事をする上で大事にしていることは、

- ・会話をすること。（「最良の武器は座って話すこと」）言わなくては人の心は伝わらない。市民の話をしっかり聞いて、一旦受け止めて、よく考えてから市の考えを話すことが大事。

- ・対話をするときの態度が肝心。相手への信頼感が必要。そして、相手からの信頼度を高める努力を日頃から続けることが大事。

- ・物事の判断をするときはいつも正解があるとは限らないと思うことが大事。上司が言うから正解だということではなく、時代の変化に敏感である若い人の考えが正解かもしれない。組織としての多様性を常に大切にすることが大事。そのためには意見を話しやすい風通しの良い職場づくりに努めてほしい。

最後に、仕事を進めていく上で、管理者にお願いしたいことは、

・危機管理対策。リスクは小さいうちに対処することが大事。何かあったら上司や周りの人にすぐ相談するように徹底してほしい。

・報連相をするだけでなく、レスポンスを早める努力をしてほしい。報告を待つだけでなく、声かけを心がけてほしい。

・職員の育成が大事。DXを推進しているが、企画力の発揮も重要。各部でも人材育成にむけて、現場目線でそのあり方を追求して行ってほしい。

将来の子供たちのために素晴らしい未来を受け継げるように頑張っていきたいので、引き続きよろしくお願ひしたい。

3. 議題

(1) 令和4年伊達市議会定例会第6回臨時会議（7月臨時会議）について
総務部長が資料に基づき説明した。

4. 報告

(1) 令和4年度部経営に関する協議（8月）について
未来政策部長が資料に基づき説明した。

(2) 県立伊達高等学校との包括連携に関する協定の締結について
未来政策部長が資料に基づき説明した。

5. その他

(1) 特別職主要業務予定、各部主要業務・行事予定表（7月上半期）

(2) その他

・財務部長が庁舎施設等の節電について協力を依頼した。

・霊山総合支所長が霊山太鼓まつりの開催に向けて職員の協力を依頼した。

【市長より】

話し合いが上手くいかない原因として、相手を最初から決めつけていることが挙げられる。相手に対して先入観をもって話し合いをすると、どうしても一方的な話し合いになってしまう。先入観をもたずに話し合いをしていくと、今より悪くなることはなく、いい方向に向かうと思う。行動においても一歩踏み出すことが大事である。市民だけでなく職場内でも積極的に相手と「対話」をすることが重要なので意識して行動してほしい。

7月10日は参議院議員通常選挙が行われる。棄権しないで投票をしてほしい。119名の職員が選挙事務に従事する。早朝から夜遅くまで大変だと思うが、国政を決める大事な選挙なので、スピーディーかつ正確に対応してほしい。

6. 閉会